

総合計画審議会専門部会 8月20日 B-4

出席者 佐藤渉委員 飯島委員 書面提出 大坂委員 川合委員

役場職員 魅力創造課 中村参事 渡邊課長補佐 矢野係長

ファシリテーター 岩野 板書 大石

◎地域資源を活用した観光の振興

質問

委員 合計数を観光入れ込み客数の数字の根拠は？

渡邊魅力創造課長補佐

愛菜屋…レジの通過客の6割 町外客が6割と考えているため。

新嵐山…スキー利用者数 華音…主催者発表数字

氷灯夜…主催者発表(5,000人) 観光物産協会…レジ通過者の3割

宿泊施設…ホテルアルムの宿泊数

観光施設がある地域であればカウントしやすいが、明確な場所が無いので、先の値を使っている。芽室公園も利用者は多いと思うが数字の把握ができない。

選定している場所・事業については北海道と協議して決めている。

観光客がどのくらいお金を落としているかを把握する手法が今後の課題と考えている。

委員 帯広市はどうやっている？

渡邊魅力創造課長補佐 帯広市も北海道と協議して決めている。

委員 2枚目(新嵐山の再生について)説明を

中村魅力創造課参事

(資料の説明)

今後、町として取捨選択し内容を決定するのが基本計画となり、みなさんにお伝えしていく。

委員 町民に意見を聞く会をずっと設けるのか？

中村魅力創造課参事

あり方の骨格の欄にもあるが町民の福祉向上につながることを理念に進めていく考えであり、長期的に聞いていく。

委員 議会の影響によって完成が伸びることはあるのか？

中村魅力創造課参事

基本構想までは議会と情報提供し議論していくが、基本計画以降は議決事項となっていく。町民の皆さんにも情報公開し意見を聞いていく。

委員 日比谷公園で観光施設の運営を任せていると聞いているが芽室町では公園はどうか？もうやっているのか？

中村魅力創造課参事

パークPFIのことだと思われます。29年に法改正が行われ収益施設を民間が建設することが可能となった。芽室公園ではモンベルのショップ、それ以外に飲食店をた

てる業者を募集している。年度内に何らかの形で町民の皆さんにお知らせできる。

○評価

委員 妥当ではない D

ふるさと納税は6億突破。芽室町の農産物のブランド力が高まった。

ただ、テレビの力もあって伸びたと思っている。今後もマスメディアの力を活用すべき。継続する方法を行政と民間で考えていく必要がある。

委員 妥当 前向きな評価

委員 妥当 施策の成果評価に対する2024年度事務事業総括に該当する事業の②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業について記載が無いのは適正なものではないと思うことを付け加えます。

委員 妥当 嵐山について前年比では増加しているが、計画策定時からみると大きく減少している。再オープンしているが、施設の老朽化がすすんでおり、コースも減して営業している状況で以前のような利用は到底見込めない。

○今後の取組

委員 嵐山は町の唯一の観光施設。嵐山の再生は上美生の人たちは心配している。上美生の人たちともっと話し合う必要があると思う。市街地住民と上美生の人との一体となる施策も必要。魅力づくりは町民の行動、想いを聞く機会を増やし、参加させていくことからだと考える。

委員 基本目標政策名に「農業」とあるが全体的にそのつながりをくみ取れる内容としてふるさと納税の一部くらいしか読み取れない。

特に、施策の課題認識の中で「農業」にふれていないことを見ても農業の現状についての課題や問題について何も把握できていないように思います。より現場の人の気持ちや意思を聞きしっかりとコミュニケーションから始める事業運営をしていくべきだと思います。

委員 将来的に施設の改修が見込めないのであれば、スキー場をあきらめることも視野に入れるべきではないか？

◎国際・地域間交流の推進

○質問

委員 JICAの人についてどのように芽室町は貢献してもらいたいと考えているか？

渡邊魅力創造課長補佐

4人は全国からきていて、2か月半芽室町で事前研修しており、芽室町の名前が全国に出ていっている。いろいろ人と対話したり、海外から帰国後に芽室町を思い出してほしい。またはチャレンジする場所に芽室町を選んでもらいたい。環境、教育などの自分のミッションを芽室町で子どもたちに伝えてほしい。芽室町のとのつながりをもって経験を伝えてもらいたい。

○評価

委員 妥当

委員 妥当 交流がコロナ以前にもどって事業が行われている。

委員 妥当

委員 妥当 海外は減少しているものの、国内2か所は策定時より増加しているため、成果は向上したと判断できる。

○今後の取組

委員 国際教養大学という大学は4年のうち1年は海外留学 授業は英語 視座は高く 国際感覚にも優れている。芽室町役場職員にそんな人を雇用ができればいいのではないかと思う。直接求人票を送付してはいかがか？

渡邊魅力創造課長補佐

職員採用の部署に伝えていきたい。

委員 少子高齢化の時代の中、国際地域間交流の中身も見直しの時期かと思う。オンラインでは味わえない、フェイス to フェイスのつながりは大切ですが、オンラインと対面を上手に活用するスケジュール作りも必要であると思う。

委員 交流事業について町民の認識、理解度を上げていくためにも広報誌だけでなく、動画配信サイトなどの媒体を利用していくことも必要と考えます。また、報告動画を制作しておけば町内のイベントなどを利用し、伝えていく機会を設けられるのではないかと思います。

委員 海外との交流については、まずは町民に対して大きくPRする必要があるのではないか？交流内容がマンネリしていないか、協会との協議だけでなく、町民意見を取り入れた取り組みにできないか？

◎シティプロモーションの推進

○質問

委員 芽室町の人口の減少率が少なかった。そういう面でもよかった。

渡邊魅力創造課長補佐

社会減ではあったが、減少率はすくなかった。シティプロモを行うことの成果の一つではないかと思う。

○評価

委員 妥当 地域ブランディング事業 まちなか再生 定住促進など事業はいろいろ行ったが結果が伴わなかった。やることはやっているとすることから。

委員 妥当ではない C

シティプロモーションアワードを受賞していることはすごいことだと思う。町のホームページに乗っていないので掲載を。

委員 妥当ではない E

施策の達成状況、課題の認識等を踏まえ妥当ではないと判断いたします。(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果について「計画策定時と比較して変わらないと評価し」とあるが1. 施策の方針と成果指標については3項目とも策定時からみて減少していると判断します。また(2) 施策の成果評価に対する2024年度事務事業総括に該当する事業の②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業について記載が無いのは適正なものではないと思うことを付け加えます。

委員 妥当ではない E

3つの成果指標のうち、前年比で1つ減少、1つ維持ではあるが、計画策定時と比較すると、全て減少しているため、後退すると評価する。

渡邊魅力創造課長補佐

評価されている部分はあるが、指標からは読み取れない。

シティプロモーションは町を生き活きさせるもので、教育、子育てなど全ての分野であると町長も考えている。11月にシティプロモーションの職員研修を行うが、全ての職員に研修を受けてもらい、町をあげて力を入れていきたい。

○今後の取組

委員 目標目的を明確にしていかななくてはならない。30～40代にいかに浸透して、参加してもらえるか。住民意識を挙げることが必要だと思う。具体的な施策と明確な目標をまとめることが必要。

渡邊 町民に知ってもらう参加してもらうは反省している。シティプロモーションという動きは必要という町民は多いので、町民との接点を増やしていきたいと考えている。

委員 5. 施策の課題認識の中に「今後においては特にインナーブランディングに注力する」とありその部分については重視すべきと考えるが、これまでの事業を見ていて「一部の関心・興味を持つ人」を対象にしているように見受けられていた。今後はまったく興味・関心を持たない人をどれだけ巻き込めるかを重視した根気のいるコミュニケーションの事業が必要ではと思います。

委員 町民意見のとおり、プロモーションは取り組みの成果が見えず、再生事業は具体的なイメージが湧かないとある。他市町村との比較よりも、芽室町を「こうしたい」というイメージを町民と共有することが優先ではないか。